

平成 20 年 11 月県議会 一般質問原稿

-2008.12.10-

[こちらで「長野県議会 本会議録画中継」をご覧ください](#)

県立高校再編計画に関して、まず、新たに就任いただきました、矢崎和広教育委員長にお伺いいたします。

矢崎教育委員長のこれまでの答弁から、長野県教育の目指す方向、取り組む姿勢につきましては大分理解できました。同時に、重要課題として位置づけていただいている高校再編につきましても、過去の反省の上に立って、高校再編の意義、取り組む姿勢、意気込みもお伺いいたしました。

「どのような高校にするのかの議論が欠けていた。地域の人との議論が必要」との認識を示していただき、心強い限りです。

再編計画に該当する地域では、さまざまな方法で議論が重ねられております。

旧第12通学区の大北地域では、県教育委員会の示した骨子に沿って、議論を重ねております。その協議の場には、必ず、県教育委員会担当者にも、同席いただき、質疑に加わっていただいております。この点につきまして、敬意を表するところです。

そこで、教育委員長にお伺いいたします。高校の数が減少する地域にとりまして、そこに住む住民にとりまして、高校の減少は、何ともやりきれない思いがあります。そのような地域の思いを、願いをどのように受け止めて、再編計画を進め、長野県高校教育の未来に向けて、新たなスタートを切っていくお考えか、お聞かせ下さい。

再編計画の中に位置づけられている地域の声、協議の場では出されている意見につきまして、以下教育長に、お伺いいたします。

新たな高校のイメージが浮かんでこない。「オールラウンドな高校」とはどのようなものか。との、地元からの声に対して、県教育委員会では、「まだ、どのような再編になるのか、示されないかではあります」、との前提で、新たな高校の基本コンセプトを示していただきました。その中では「自然科学系新学科」、「人文科学系新学科」と「普通科」を例示していただきました。それぞれの特長、目指す方向はどのようなものなのか、ご説明をお願いいたします。加えて、例示案についての意見が数々出されていましたが、ご見解をお聞かせください。

また、例示案の説明のなかで進学を考えたとき、理数科だけ特化しただけでは厳しく、文系に特化した専門学科も必要、として説明をいただきましたが、現状の専門学科で対応している県内高校の学習状況、進路状況等はどのようになっているのか、ご説明をお願いいたします。理系、文系の両科を兼ね備えることによって、どのような学習効果が考えられるのでしょうか。そのような事例がございましたらご説明をお願いいたします。

学力の向上、進学コースの充実、地域の教育力、地域を担う人材育成を、との声にはどのように応えていくのか、具体策をお聞かせ下さい。

地域の子どもは、地域で育てるといわれていますが、長野県の高校教育は必ずしもその方向で進んでこなかった。地域とのかかわりが薄いとの指摘があります。職業高校については結びつきを感じますが、普通高校については実感があまり湧いてきません。高校はどのような形で、地域に開かれた取り組みをしているのでしょうか。見解をお聞かせいただきますとともに、取り組みの実践例がございましたらご説明下さい。

高校再編と同時に教師の資質を高めていくことが必要。との声を多く聴きます。高校再編の鍵は教師の力によるところも大と考えます。熱意が必要との声も聞かれますが、その点につきまして如

何でしょうか。見解をお聞かせください。そして、どのようにして教師の資質向上を図るのか、お聞かせ下さい。

再編に向けて取り組んでいる先進事例を見ますと、具体的な再編が決まり、協議がスタートしてから、2年でようやく方向性などが具体化されています、その後5、6年くらい後に、新たな体制でスタートが切られているのが、現実的なスケジュールのような気がいたします。

再編計画に沿って21年度の中から取り組みをスタートさせ、5年くらいの準備期間を経て、との考えが示されていますが、その5年間の準備期間がどのように推移していくのかのスケジュール案を示す必要があるとの指摘もいただいております。その点につきましてはどのようにお考えでしょうか。そして、今回お示しいただく再編計画案では、スケジュール等は示されるのでしょうか。併せてお聞かせ下さい。

28年度頃を目標にということで再編計画が進められています。仮に28年度から新しい体制のもとでの受験、受け入れ態勢としますと、現在の小学校一年生です。今の一年生を見ていると、いろいろな児童がいて、対応していかなければならないと感じているとの現場の先生からの声も数多く聞かれます。新しい高校は、多様な生徒を受け入れ、十分対応できる学校が求められておりますが、県教育委員会ではどのようにとらえていますか、見解をお聞かせ下さい。

再編計画の推進にあたっては、校舎整備、環境整備も重要な課題の一つです。厳しい財政状況の続くなか、すでに再編がスタートしている高校、具体化してきている高校、これからの高校とあるわけですが、どのような対応をしていくのかお聞かせ下さい。

施設、設備、今あるものをあてはめるだけという考えはないと思っておりますが、念のためにお聞きいたします。

新高校誕生までの時間も大切です。それぞれの高校の学習の充実はもちろん、これまで培ってきた活動を活性化させ、新しい高校を目指したくなる体制作りが必要と考えます。この点につつま

しての見解をお聞かせ下さい。

そのためには、これまで以上の、学習指導と、それぞれの学校の活力を生み出す努力も求められます。加えて、地域の声をしっかりと聞くと同時に、情報を積極的に提供して議論を深めていくことが必要と考えますが如何でしょうか。

この間の、中学校の進路指導も大切になります。中学校との連携につきましてはどのように取り組んでいくお考えかお聞かせ下さい。

大北地域で高校再編の協議がスタートしてから、長野県教職員組合大北支部の先生たちが中心となって、管内8中学校の三年生全員を対象として、「高校再編についてのアンケート」調査を実施いたしました。そして、そのアンケート結果に基づいての参加者によるフリーディスカッションが11月7日に大町市で開催され、県教育委員会からも参加いただきました。

私も出席して、アンケート結果、会場での発言から、生徒たちの思いを感じ取ることができました。想像していた以上に、中学生は冷静に、的確に今回の再編計画を見守り、考えていることを感じました。県教育委員会としては、今回のアンケート結果につきまして、どのように分析、検証しているのでしょうか、お聞かせ下さい。

同時に、今回の中学生の声は再編計画案に生かされていくのか、考えをお聞かせ下さい。

具体的な再編が決まった場合に、両校のプロジェクトチームによって、学校目標・教育目標・教育課程・進路指導等について検討が始まるとのことですが、プロジェクトチームの規模、構成、そして地域の声はどのように反映されるのか、お聞かせ下さい。

地域に向向いて、真摯に耳を傾け、質疑に加わっていただいていることにつきましては冒頭申し上げた通りであります。

今後、具体的な再編計画が決まった場合には、地元との議論に、これまで以上に積極的に加っていただき、地域の声をしっかりと、確実に新しい再編計画に活かしていただけるようお願いいたします。

次に新年度に向けての取り組みについて教育長に伺います。

まず1点目は、

新教育基本法のもとでの、新学習指導要領が平成23年から小学校で、24年度からは中学校でスタートいたします。国においても、新学習指導要領の円滑な実施に向けた対応について、新年度から予算措置が考えられているようですが、県としての準備、対応はどのように考えているのか、お聞かせ下さい。

2点目は、

21年4月から開始されます、教員免許更新制についてであります。国公立私立学校の全ての現職教員約110万人は、10年ごとに更新講習を受講・修了することが義務付けられます。したがって、全国では毎年10万人ほどの現職教員が最新の知識・技能を身に付けられる、質の高い更新講習を受講して、資質と能力の向上を図ることを目的としてスタートするわけですが、長野県の対象者数、実施方法、講習期間、国の言う質の高い更新講習とは、どのような内容をいうのか、ご説明をお願いいたします。

次に長野県教育振興基本計画について伺います。

一昨日、村上議員からも質問が出され、計画の趣旨、期間、取り組む課題等につきまして理解

いたしました。

そこで、私からは重複しないように教育長にお伺いいたします。

まず、長野県の教育を考える懇談会を設置して意見のとりまとめを行うとともに、パブリックコメントを行い、県民の皆様からの意見のとりまとめを行ったとのことですが、パブリックコメントで寄せられた意見はどのようなものだったのか。その意見は、今回の計画の中に反映されたのでしょうか。

教育を取り巻く環境は大きく変化し、児童生徒の置かれている状況も様変わりしています。そのような状況に的確に対応できる“教育改革”への不断の努力が求められるとして、計画策定の中に示されています。

さらに、長野県は四季折々の美しさを持った豊かな自然環境に加え、産業・文化など様々な分野の発展を支える人づくりに、熱心に取り組んできた、歴史的、文化的風土があります。新しい時代の人づくりに向けての方向を明らかにするために、と謳われています。

教育課題として、人材育成、仕組みづくり、取り組み、応援体制などを掲げ、①知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間の育成、②多様性を認め、ともに生きる社会の実現、③社会全体で共に育み、共に学ぶ教育の推進の、基本目標を掲げています。

10年後の長野県教育の姿について、私は是非、日本の心を大切に、“長野県らしさを”創造して欲しいと願っておりますが、ご見解をお聞かせ下さい。